

# 放送する使命・提供する心

株式会社テレビマンユニオン  
代表取締役会長・CEO

しげのぶ ゆたか  
重延 浩



昭和16年9月4日樺太・豊原生まれ、札幌出身。昭和39年(株)東京放送入社、昭和45年テレビマンユニオン設立に参加、平成14年より現職。平成17年第55回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。「日立 世界ふしぎ発見！」ゼネラルプロデューサー。

TBSで放送の「世界ふしぎ発見！」が今年の三月三日で一〇〇〇回の放送を迎えた。一九八六年四月に放送開始して以来、二二年間ほぼ毎週放送して、一〇〇〇回を迎える。私はこの番組の企画者で、今もプロデューサーを務めている。

「世界ふしぎ発見！」は日立製作所の一社提供番組である。今は一社で提供する番組も数少なくなった。毎年二月私は提供主に「世界ふしぎ発見！」の年間プレゼンテーションをする。それはいつも三〇ページを越える分厚い企画書になる。これを二一年間一度も欠かしたことがない。「世界ふしぎ発見！」の歴史の見つめ方、捉え方、古代文明であつても人間がいかにすばらしい知恵を持っているかを毎年、熱く語る。どんな歴史を取材するかを提案する。古代文明、秘境、動植物、旅、科学技術、芸術と色とりどりの世界の変化は激しく、戦争状態の地域の確認、中近東の捉え方、自然災害に対するケア、各国の政治状況を分析して、取材地を選択する。

今年環境問題にも主題を広げる。出演者は草野仁、黒柳徹子、板東英二、野々村真、ミステリーハンター、ゲスト解答者らほんとうにこの番組を愛して出演してくれる方を選択する。

視聴率は、高いのが良いのはもちろんだが、適切な率であることを志向する。番組の質を優先すると励ましてくれる日立グループである。だが、「世界ふしぎ発見！」の視聴率は時々高視聴率番組にランクされる。そんなときは素直に嬉しい。

あるとき広告代理店から、番組内で放送する今までにないコマージュナルを企画してくれないかと頼まれた。私は即座に「社長が自分で語る日立のコマージュナル」と言った。なんとその企画を当時の庄山悦彦社長が快諾した。その撮影には一つだけ庄山社長の条件があつた。「撮影は夏休みの家内との私的な旅行中であつてほしい。みんなが忙しいときに、社業を離れるわけにはいかない」。旅行先は一度行つてみたかったというエジプトのアレクサンドリアになつた。その古代図書館で、ユビキ

タスについて語る。ユビキタスは過去の水道や電気のように人間の生活にとつてかけがえないものになるという社長のお話を用意された。同行した奥さんの私への注文はたった一つ、「主人に少しおなかをひっこめるように言ってくださいね」。社長談話の撮影は一回でOKが出た。そのコマージュナルが、とても評判が良かったと聞いて、私もほっと胸をなでおろした。

日立は今、「世界ふしぎ発見！」で、地雷除去活動のインフォマーシャルCMを放送している。商品の販売促進に直接結びつくようなコマージュナルが求められる時代に、そんな広告観を持つ企業があることに驚く。だから私は、テレビマンユニオンの会長になつてもこの番組の現場プロデューサーを辞めることはない。「世界ふしぎ発見！」第一回古代エジプト編の監修をしていただき、番組の解答者でもある吉村作治先生に次号でさらにおもしろいお話をうかがえる。吉村先生はサイバー大学の学長になられた。

次号は、サイバー大学学長、吉村作治氏にお願いします。



(敬称略) 小長啓一 → 野々内隆 → 根来泰周 → 石弘光 → 武藤敏郎 → 高橋温 → 増田寛也 → 西澤潤一 → 内田盛也 → 中原恒雄 → 今井敬 → 室伏稔 → 上島重二 → 西室泰三 → 依田巽 → 重延浩

※本コーナーは、弊会ホームページでもご覧頂けます。